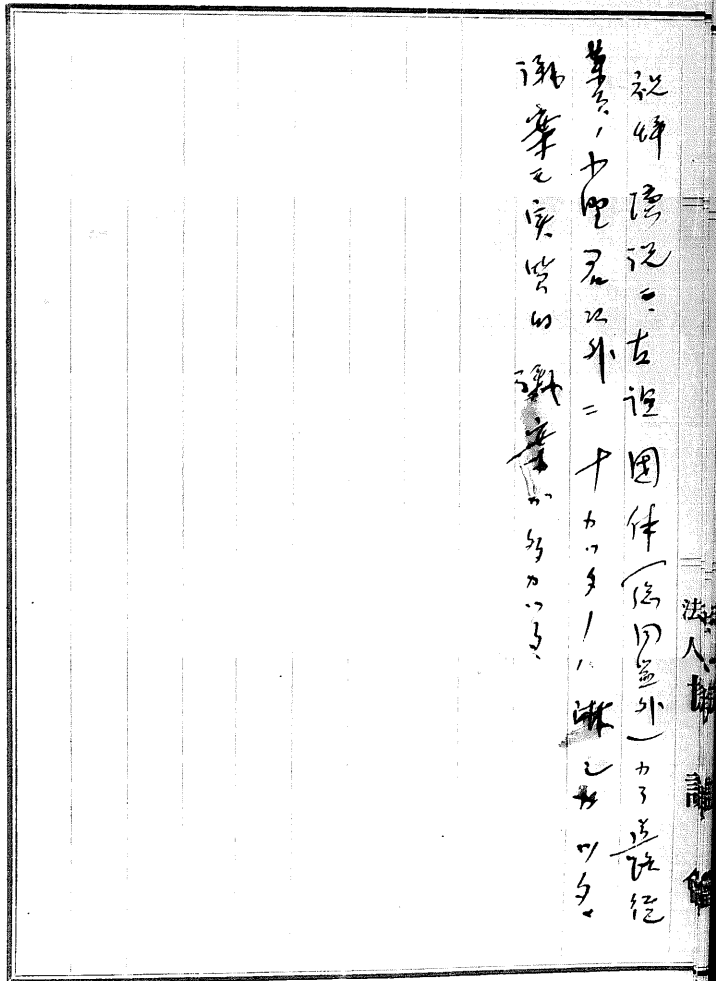


社評 評記 古語 因件 (信の益外) カラ 近況 記
第... / 少... 石... 外... = 十... / ... 淋... / ...
漸... 之... 實... 的... 漸... / ... / ...



實言

資本主義経済組織の必然的に齎せらるる社会的不安は、益々露骨に深刻化し、加ふるに資源の枯渇等の我が國に於ける特殊の事情によつて、更に其勢を助長し、凡ゆる産業は致命的打撃を受け、大小工場の倒壊相次ぎ、失業者は無限に増加し、職を求めて彷徨する労働者は巷にあふれつゝ、然るに資本家階級は、此の必然的行結りを打開せんとする唯一の方法として、労働階級の抑圧を行ひ、其の不当な犠牲を要求しつゝ、ある。既に労働者を敵首、労働賃銀、一可半價、利下げ等是である。

此の如き資本家階級の積極的攻勢を前にして、労働組合は其の陣容を整へ、戦線を拡大して、充分之に備へる所をなすべからぬ。然らば我等は何となすべきか。

第六 治安維持法其他労働組合運動の歴史を果はる改革

- 第一 組合組織の合理的改造による集中主義の徹底
- 第二 総同盟内鉄工業労働組合の合同断行
- 第三 組合財政の充實と罷業の統制
- 第四 労働調査の整備と共に労働大衆組織方法の現實化
- 第五 共済的施設の完備
- 第六 消費組合運動の促進